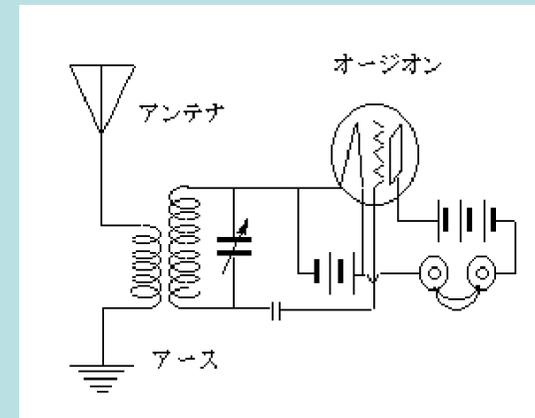
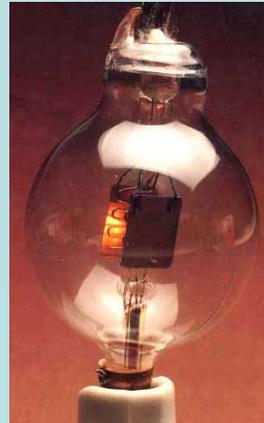
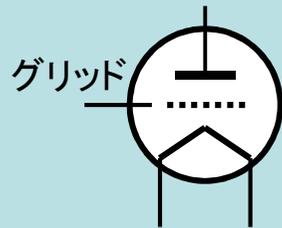


ド・フォーレの三極真空管(1906)と増幅作用の発見(1912)

1906年、ドフォーレは三極真空管の特許を申請。プレートとカソードの間にグリッド(ジグザグの金属線)を入れたもので、単なる検波管として考えていたが、1912年に増幅作用があることが発見された。



L. De Forest
1873-1961



三極管の記号 ドフォーレ3極管の外観

ドフォーレの特許

1922年製造の古典真空管 UX-201A(01A)

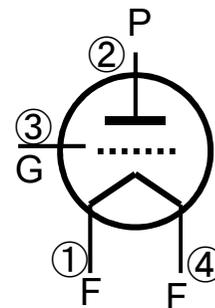


仕様

1920年代、検波・増幅用として
古典ラジオに多用された。

フィラメント電圧・電流 5V 0.25A

プレート電圧 45V~180V



入出力特性の実測

